

入学を祝して



入学を祝して

歯学部長 前田 健康

平成28年度新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新潟大学歯学部に入學された皆さんに、新潟大学歯学部の教職員を代表して、心からお祝いと歓迎の意を表します。厳しい入学試験を突破し、大学生活での新たな生活への期待に胸を膨らませていることと思います。また保護者ならびにご家族の皆様の方々にも心からお慶び申し上げます。皆様方のご期待にそえるべく、新潟大学歯学部でその能力をさらに大きく伸ばすことができるよう、私たち教職員も全力を尽くしたいと思います。

新潟大学歯学部は半世紀の歴史をもち、この歴史は在学生、全国各地で活躍している卒業生、教職員の努力の上に築かれてきたものです。歴史、すなわち伝統は安穩として築かれるものではなく、その過程には常に革新が必要とされています。すなわち、「伝統は革新の連続」です。常にチャレンジ精神をもつことが必要です。新入生の皆さんと新潟大学歯学部の新たな歴史の扉を開き、さらなる伝統を築き上げていきましょう。

歯学部設置前の昭和35（1960）年には男性65.32歳、女性70.19歳だった平均寿命が平成25（2013）年にはそれぞれ80.50歳、86.83歳となり、我が国は超高齢社会となっています。平成25（2013）年の高齢化率は25.1%（男性22.1%、女性27.8%）となり、平成72年（2060）年には39.9%に達し、2.5人に1人が65歳以上になるとの推計が出されています。従って、今までの歯科医療も健康者型から高齢者型への転換が求められ、また健康寿命の延伸が国家政策となっています。歯学への社会的要請として、「健康長寿社会実現への貢献」、「医療イノベーションの創出」、「国際的な医療課題の解決」が掲げられています。また本歯

学部の強みとして、「問題解決能力を持った歯科医師養成と国内外の人材養成モデルの構築」、「口腔のQOL向上を目指した基礎・臨床研究」、「有病・高齢者への対応や歯科再生医療の実践」があげられています。私ども新潟大学歯学部の教育スタッフは、課題探求・問題解決能力の育成を重視し、その後続く学習を通して、主体的に専門性を向上させる人材を養成することを目指しています。新潟大学歯学部の教育目標は、歯学・口腔保健福祉学の分野に貢献する専門職業人の育成で、この分野で活躍するためには国家試験に合格する必要がありますが、伝統的に本学ではいわゆる国家試験対策を行っていません。新潟大学歯学部では「学生自身が自ら学ぶ」ということを教育の柱としていますので、教育への学生の積極的な参加が求められます。高校までのspoon-feedingからself-cookingに転換する必要があります。また、歯科医療・口腔保健医療教育の集大成である臨床実習は、新潟大学医歯学総合病院を学びの場として、学生諸君が担当医の指導の元、診療参加・実践型の臨床実習を展開しています。ここで再度強調しておきたいのは、新潟大学歯学部の教育の主役は、教員ではなくて、学生諸君であるということです。自ら努力して勉強しなければ、皆さんが望む成果を得ることができません。皆さんと教職員が協働して皆さんの夢を叶えましょう。

厳しい国家財政の中、歯学部大型改修工事も昨年完了し、新たな教育環境で教育・研究が進められることとなっています。また、学生教育環境整備にも注力し、ファントム実習設備の整備、ハプティックデバイスによるシミュレーターおよび相互実習室の新設、学生診療用の歯科ユニットおよび補綴技工機の更新に代表されるように、各種

教材、教育機器の整備・充実にも努めています。これらの高度かつ快適な教育環境を積極的に活用し、自己の目標達成のために、切磋琢磨し、たゆまぬ努力をお願いします。

勉強の話ばかり致しましたが、20代前後のこの時期、勉強ばかりだけでなく、クラブ活動、ボランティア活動などさまざまな社会経験をし、歯学

部以外にも多くの友人を作り、教養のある社会人となるよう人間性を磨いてください。そして、社会の期待に応える医療人を目指し、これから充実した学生生活を過ごし、卒業時に、平成28年度新入生および保護者の皆様全員でまた朱鷺メッセで喜びを分かち合いましょう。





入学を祝して

新潟大学医歯学総合病院副院長 小林 正治

難関を突破され歯学部歯学科ならびに口腔生命福祉学科に入学された平成28年度新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これからの歯科医療ならびに社会福祉を担うべく全国から集まってきた君達を心より歓迎いたします。

新潟大学医歯学総合病院は、医科と歯科のより緊密な連携による全人的医療の提供と更なる医療ニーズの変化に的確に対応することを目的として、平成15年10月に医学部附属病院と歯学部附属病院が統合して設置されました。本院は、特定機能病院として地域の中核的医療及び高度医療を担う医療機関であるとともに、医療に従事する者を養成する教育機関でもあります。その理念は、「生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成する」というものです。

君達は今、大学入学という1つの目標を達成しました。次に君達が目指す新たな目標を設定してください。君達の大多数は歯科医師や歯科衛生士、社会福祉士などのプロフェッショナルになるために、4年後あるいは6年後にそれぞれのライセンスを取得することを目指していることと思います。しかし、それもゴールではありません。さらにその先、君達には誰からも信頼される医療人になっていただきたいと願います。歯学部では、優秀な医療人を養成したいと考え、歯学臨床教育においても様々なプログラムを用意しています。

まず、君達は1年生の時から早期臨床実習として病院で実際の医療の現場に立っていただきます。ここでは、医療人になるための心構えを形成し、医療の本質である「患者さんの視点に立つ」という意味を実感していただく目的があります。また、見学実習を通して、医療行為に必要な知識や技量を観察し、これからの基礎歯学・臨床歯学学習に対するモチベーションを向上させ、医療人

としてのあるべき態度を肌で感じ取ってほしいと考えています。そして、口腔生命福祉学科では3年生の秋から、歯学科では5年生の秋からは本格的に臨床実習が始まります。新潟大学歯学部における臨床実習は、学生を担当医の1人と位置づけ、診療参加型で行われる点が最大の特徴であります。最近では、診療参加型臨床実習をさらに充実させるために、学生の経験や学習成果、指導内容の可視化を図るツールとして電子ポートフォリオを開発し運用するとともに、コンピタンスレベルを評価する新たなシステムを導入するなど、全国モデルとなる充実した歯学臨床教育を実施しています。是非、高い志を持って、学業に励んでいただきたいと思います。

また、課外活動にも積極的に取り組んでください。サークル活動やボランティア活動など、人との交流が医療人に不可欠なコミュニケーション能力を養い、人間としての成長にも大きく寄与します。歯学部にとどまらず、幅広い多くの友人を作ってください。そして、仲間と大いに食べ、大いに飲み、大いに語らって幅広い教養を身につけ、魅力のある人になってください。さらに、挫折を恐れずに様々なことに挑戦してください。挫折は、挑戦した人だけが味わえる特権です。また、心を強く豊かにするワクチンでもあります。信頼される歯科医師・歯科衛生士そして社会福祉士になるためにも、学生生活を通して心も鍛えていただきたいと思います。

新潟は、豊かな自然に囲まれ、食材の豊富さやその美味しさは目を見張るものがあります。また、様々な伝統文化も根付いた魅力ある街でもあります。君達が、新潟の地で楽しく充実した学生生活を送れるものと確信いたします。君達のこれからの活躍に期待しています。